

## 2 水質汚濁調査結果

### 1) 調査項目

調査項目は、生活環境項目等とした。

### 2) 調査時期

調査は1回/年とし、調査の時期は冬季とした。

調査の日程は、以下に示すとおりである。

令和 4年1月13日(木) 天候：晴れ

### 3) 調査地点

調査地点は、調整池及び鞍居川流入部の2地点で実施した。

### 4) 調査方法

水質の調査方法は、次の表に示すとおりとした。

調査方法

項目		調査方法	
一般 項目	気温	JIS K 0102 7.1	
	水温	JIS K 0102 7.2	
	流量	JIS K 0094	
水 の 汚 れ	生 活 環 境 項 目 等	水素イオン濃度	JIS K 0102 12.1
		生物化学的酸素要求量(BOD)	JIS K 0102 21 及び 32.3
		浮遊物質量 (SS)	環告第 59 号付表 9
		溶存酸素量 (DO)	JIS K 0102 32.1
		大腸菌群数	環告第 59 号別表 2 1.(4)備考 4
		化学的酸素要求量 (COD)	JIS K 0102 17
		総窒素	JIS K 0102 45.2
		総りん	JIS K 0102 46.3
透視度	JIS K 0102 9		

## 5) 調査結果

調査結果及び環境保全目標との比較を以下の表に示す。

供用開始9年目の調査結果は、参考とした環境基準(A類型)を全ての地点で満足しており、アセス調査時、供用開始前及び供用開始1年目から8年目(鞍居川流入部については千種川改良工事の影響が見られた供用開始3年目夏季までを除く)の調査結果と概ね同程度の結果であり、大きな変化はないものと考えられた。また、2地点ともに全ての項目で環境保全目標を満足していた。

### 河川水質調査結果(調整池)

項目	単位	調整池					環境基準(A類型)参考	
		供用開始前	供用開始1年目～6年目	供用開始7年目	供用開始8年目	供用開始9年目		
一般項目	飲料採取時期	—	供用開始前	供用開始1年目～6年目	供用開始7年目	供用開始8年目	供用開始9年目	—
	飲料採取日	—	H24.10.3	H25.7～H31.2	R2.1.22	R3.1.19	R4.1.13	—
	天候	—	晴れ	晴れまたは曇り	曇り	曇り	晴れ	—
	気温	℃	25.0	4.5～35.5	3.2	2.8	2.2	—
	水温	℃	24.8	7.2～30.5	7.5	5.3	6.0	—
	流量	m <sup>3</sup> /sec	—	0.0016～0.0054	0.0011	0.0005	0.0029	—
	水の汚染 生活環境項目等	水素イオン濃度	pH	8.0(22.0℃)	7.1～7.8	7.7(19.8℃)	7.6(20.2℃)	7.6(19.8℃)
生物化学的酸素要求量(BOD)		mg/L	1.6	1.3～1.7	1.2	1.8	1.6	2mg/L以下
浮遊物質(SS)		mg/L	7	<1～5	<1	2	2	25mg/L以下
溶存酸素量(DO)		mg/L	7.9	7.7～9.5	9.9	12	11	7.5mg/L以上
大腸菌群数		MPN/100mL	1,700	170～4,600	350	20	45	1,000MPN/100mL以下
化学的酸素要求量(COD)		mg/L	3.8	2.2～3.8	2.3	3.0	3.3	—
総窒素		mg/L	0.54	0.45～0.60	0.46	0.66	0.50	—
総りん		mg/L	0.018	0.007～0.025	0.008	0.022	0.020	—
透明度		度	43	>50	>50	>50	>50	—

注：1) 供用開始1年目～3年目は2回/年の頻度で全ての項目を、4年目～6年目は1回/年の頻度で一般項目、生活環境項目等及びダイオキシン類を調査した。  
2) 供用開始7年目以降は、1回/年の頻度で一般項目、生活環境項目等を調査した。

### 河川水質調査結果(鞍居川流入部)

項目	単位	鞍居川流入部					環境基準(A類型)参考		
		アセス調査時	供用開始前	供用開始1年目～6年目	供用開始7年目	供用開始8年目		供用開始9年目	
一般項目	飲料採取時期	—	アセス調査時	供用開始前	供用開始1年目～6年目	供用開始7年目	供用開始8年目	供用開始9年目	—
	飲料採取日	—	H14.10～H15.8	H24.10.3	H25.7～H31.2	R2.1.22	R3.1.19	R4.1.13	—
	天候	—	—	晴れ	晴れまたは曇り	曇り	曇り	曇り	—
	気温	℃	—	23.8	3.7～35.0	3.6	3.2	1.5	—
	水温	℃	—	21.5	5.3～29.0	4.7	4.0	3.0	—
	流量	m <sup>3</sup> /sec	—	0.062	0.023～0.048	0.0085	0.0037	0.0084	—
	水の汚染 生活環境項目等	水素イオン濃度	pH	7.6～8.0	7.9(22.2℃)	7.5～8.1	8.2(19.5℃)	8.3(20.1℃)	8.3(19.9℃)
生物化学的酸素要求量(BOD)		mg/L	<0.5	1.0	0.9～1.5	1.0	1.5	1.0	2mg/L以下
浮遊物質(SS)		mg/L	<1～3	3	<1～8	<1	<1	<1	25mg/L以下
溶存酸素量(DO)		mg/L	7.6～13	8.1	8.0～12	13	13	13	7.5mg/L以上
大腸菌群数		MPN/100mL	140～17,000	940	110～4,900	920	68	270	1,000MPN/100mL以下
化学的酸素要求量(COD)		mg/L	2.1～3.6	2.4	2.0～4.0	1.9	2.4	1.7	—
総窒素		mg/L	0.20～0.67	0.40	0.25～0.57	0.31	0.19	0.21	—
総りん		mg/L	0.012～0.024	0.015	0.006～0.024	0.006	0.021	0.016	—
透明度		度	>50	>50	39～>50	>50	>50	>50	—

注：1) 供用開始1年目～3年目は2回/年の頻度で全ての項目を、4年目～6年目は1回/年の頻度で一般項目、生活環境項目等及びダイオキシン類を調査した。  
2) 供用開始7年目以降は、1回/年の頻度で一般項目、生活環境項目等を調査した。

### 調査結果と予測結果及び環境保全目標の比較(供用開始9年目)

項目	単位	調査結果		環境保全目標
		調整池	鞍居川流入部	
BOD	mg/L	1.6	1.0	2 mg/L 以下
COD		3.3	1.7	6 mg/L 以下
T-N		0.50	0.21	1 mg/L 以下